

# 全国

ぜんこく  
しぎかいじゅんぽう

平成22年  
(2010年) 4月15日  
毎月3回5の日に発行

第1757号  
定価 1部20円

発行 全国市議会議長会  
〒102-0093  
東京都千代田区平河町2-4-2  
代表 TEL 03(3262)5234  
旬報 TEL 03(3262)2309  
発行人 大竹 邦実  
http://www.si-gichokai.gr.jp

# 市議会旬報

## 参議院で先議

### 地域主権3法案審議入り

国と地方の協議の場、法制化などを盛り込んだ地域主権関連3法案が4月7日、参議院で審議入りした。政府・与党サイドは参院先議とし、3法案について十分な審議時間を確保したい考え。

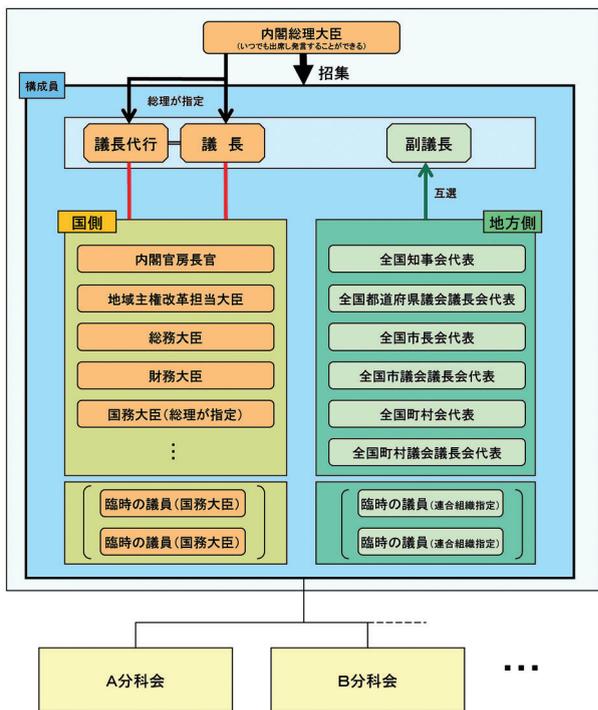
国と地方の協議の場については、地方サイドが長年にわたり国へ設置を求めてきた、いわば悲願

は、自治体の自主性を強化し自由度の拡大を図るため、国が自治体運営に

関与する義務付け・枠付けについて、関係する41法律を一括改正する。

しかし、法案に掲げられた義務付け・枠付けの見直し事項は、地方分権改革推進委員会が第3次勧告で示した892条項のうちの一部。今回の法案で措置されなかった条項については今後、地方の意見を踏まえながら、速やかに対処されること

### 国と地方の協議の場 (イメージ) (参考)



## 本会

# 第86回 定期総会

5月26日・日比谷公会堂で開催

全国市議会議長会は5月26日10時30分から、東京・日比谷公会堂で第86回定期総会を開催する。

総会では、内閣総理大臣はじめ、総務大臣、衆参両院議長の来賓祝辞の後、正副議長・議員の永年勤続表彰を行い、続いて一般事務、会計の報告を行う。

午後には地方行政、地方財政、社会文教、産業経済、建設運輸委員会の5委員会と国会対策委員会、地方分権改革・道州制調査特別委員会の1

## 天皇陛下に拝謁

総会翌日、皇居で

定期総会翌日の5月27日、

年間の活動結果を各委員長が報告する。このほか、会長提出議案と9部会から提出される議案を審議したあと、部長、理事などの役員改選と顧問、相談役の委嘱を行う。

総会終了後には、同会場で地方行政、地方財政委員会など5委員会の合同会議を開き、それぞれ正副委員長を選任する。

## 9議長会が総会開催へ

4月中旬から

北海道議長会から九州議長会の9議長会は、4月中旬から5月上旬にかけて定期総会を開催する。

総会では、各議長会の会長はじめ新役員を選出すると

皇居豊明殿で、全国の市議会議長が天皇陛下に拝謁する。拝謁後には、宮中三殿などの特別参観も行われる(いずれも予定)。

もに、5月26日開催の本会第86回定期総会に提出する要望議案などを決定する。各議長会総会の開催日と開催市は次のとおり。

- ▽北海道 4月22日 深川市
- ▽東北 4月15日 会津若松市
- ▽北信越 4月22日 長岡市
- ▽関東 4月27日 前橋市
- ▽東海 4月22日 沼津市
- ▽近畿 4月20日 高石市
- ▽中国 4月22日 呉市
- ▽四国 5月10日 高松市
- ▽九州 4月22日 佐賀市

※分科会については、協議の場に臨んで定める

# 市区議員「無所属」が最多64%

## 21年末 地方議員の所属党派—総務省調

総務省は3月26日、「地方公共団体の議会の議員及び長の所属党派別人員調等」を公表した。これは、平成21年12月31日現在在職する者について、それぞれ立候補時に届出した所属党派を調べたもの。

### 市区議員定数533人減

調べによると、全国の市区・町村議会議員の定数合計は、前年に比べ949人減少の3万4682人。このうち市区議会議員の定数は、前年に比べ533人減の2万1597人、欠員を除いた実議員数は2万1317人となる。一方、町村議会議員の定数は、前年に比べ416人減の1万3085人で市区議員の定数を8512人下回っている。

### 市区議員64%が「無所属」

全国806市区(21年12月現在)の議会議員2万1317人の所属党派をみると、無所属(政党その他の政治団体

に所属していない者)が最も多く1万3706人で、64.3%(前年比0.8ポイント増)を占める。次いで公明党が2330人で10.9%(同0.1ポイント増)、日本共産党が2011人で9.4%(同0.1ポイント増)、自由民主党が1690人で7.9%(同0.1ポイント減)、民主党が1014人で4.8%(同0.4ポイント増)、社会民主党が349人で1.6%(同0.4ポイント増)、国民新党が3人で0.0%(同0.0ポイント増)、新党大地が2人で0.0%(同0.0ポイント増)、みんなの党が1人で0.0%(同0.0ポイント増)、諸派が211人で1.0%(同0.0ポイント増)、無所属が13,706人で64.3%(同0.5ポイント増)となっている(表1参照)。

### 市区議員12.9%が女性

全国の女性市区議会議員の総数は2752人で前年に比べ10人減少しているが、全市区議員に占める女性の割合は12.9%(前年比0.2ポイント増)となっている(表2参照)。女性市区議員の所属党派をみると、無所属が最も多く909人で全女性市区議員の33.0%(前年比0.2ポイント増)を占める。次いで日本共産党が741人で26.9%(同0.3ポイント増)、公明党が686人で24.9%(同0.1ポイント増)、諸派が143人で5.2%(同0.9ポイント増)、民主党が134人で4.9%(同0.9ポイント増)などの順。また、女性市区議員の占める割合が最も高い党派は諸派の67.8%となっている。

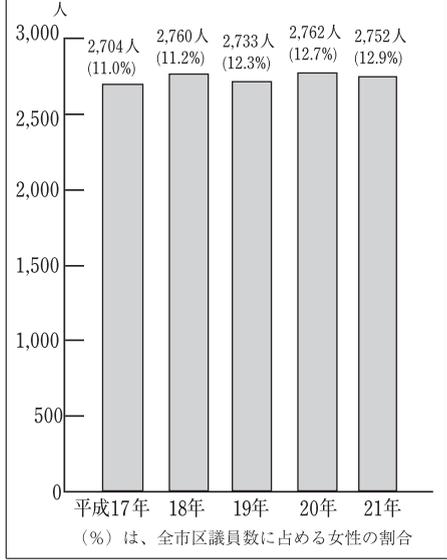
〈表1〉

市区議会議員の所属党派別人員調

党派	平成21年12月		平成20年12月	
	人	%	人	%
公明党	2,330	(10.9)	2,321	(10.6)
日本共産党	2,011	(9.4)	2,029	(9.3)
自由民主党	1,690	(7.9)	1,742	(8.0)
民主党	1,014	(4.8)	958	(4.4)
社会民主党	349	(1.6)	360	(1.6)
国民新党	3	(0.0)	3	(0.0)
新党大地	2	(0.0)	2	(0.0)
みんなの党	1	(0.0)	—	—
諸派	211	(1.0)	210	(1.0)
無所属	13,706	(64.3)	14,216	(65.1)
計	21,317	(100.0)	21,841	(100.0)
欠員	280		289	
定数合計	21,597人		22,130人	

※構成比(%)は、小数点以下第2位を四捨五入

〈表2〉 女性市区議員数の推移



(%)は、全市区議員数に占める女性の割合

### 全市区長が「無所属」

このほか、市区長の所属党派を見ると、欠員の2市を除く804市区すべての首長が無所属となっている。また、女性の市区長は前年より4人増え、仙台市、常総市、所沢市、白井市、新宿区、足立区、三鷹市、多摩市、横浜市、平塚市、伊勢原市、魚沼市、木津川市、尼崎市、宝塚市、倉敷市、宇部市、五島市、沖縄市の計19人。

### 議会人事

- ▽議長 太田重喜(2・8)
- ▽嬉野 大島一夫(2・9)
- ▽茨木 東口良伸(2・9)
- ▽都城 松下喜久雄(2・12)
- ▽指宿 岡部正敬(2・15)
- ▽取手 高橋和美(2・16)
- ▽本庄 小岩孝一(2・19)
- ▽栗原 長谷川隆(2・19)
- ▽神栖 石井啓裕(2・22)
- ▽帯広
- ▼副議長
- ▽嬉野 田口好秋(2・8)
- ▽茨木 友次通憲(2・9)
- ▽都城 永山透(2・9)
- ▽指宿 六反園弘(2・12)
- ▽御殿場 勝又嶋夫(2・15)
- ▽本庄 小林猛(2・16)
- ▽栗原 瀬戸健治郎(2・19)
- ▽神栖 大槻邦夫(2・19)
- ▼事務局長
- ▽十日町 水落文一(1・1)
- ▽所沢 土方亘(1・1)
- ▽平戸 森宗隆(1・1)
- ▽北見 辻直孝(1・29)

### 電話番号等変更

▽にかほ市(秋田県)  
 FAX 0184(43)7513  
 ※所在地・電話番号については、ともに変更なし

平成21年中の意見書・決議の議決状況

【 】内は小計

件名	意見書	決議	件名	意見書	決議
<b>【税・財政】</b>	<b>【 549】</b>	<b>【 5】</b>	<b>【公害・環境保全】</b>	<b>【 233】</b>	<b>【 10】</b>
○電源立地地域対策交付金制度の交付期間延長	104	—	○「緑の社会」への構造改革推進	77	—
○平成21年度補正予算の適正な執行	99	—	○「気候保護法」の制定	62	—
○国直轄事業負担金の見直し、廃止	69	—	○エコポイント制度並びにエコカー補助金の継続	30	—
○地方税財源の充実・強化	46	1	○産業廃棄物処理施設反対	9	5
○経済危機対策などに伴う地方負担の軽減	37	—	○その他	55	5
○住民税、所得税の配偶者控除・扶養控除の廃止反対	25	—	<b>【建設・運輸・郵政・国土保全】</b>	<b>【 216】</b>	<b>【 9】</b>
○平成22年度予算の年内編成	24	—	○道路整備の促進	66	—
○その他	145	4	○高速道路原則無料化の撤回	34	—
<b>【地方行政・議会・選挙】</b>	<b>【 233】</b>	<b>【 38】</b>	○八ツ場ダムの建設推進	14	—
○新たな過疎対策法の制定	53	—	○地域間格差を拡大する「地方移譲」に反対	10	—
○国として直接地方の声を聞く仕組みの保障	36	—	○その他	92	9
○市議会議員年金制度の安定的運営の確保など	20	16	<b>【労働・商工】</b>	<b>【 771】</b>	<b>【 5】</b>
○地方分権改革推進計画策定と新分権一括法制定	16	—	○緊急雇用対策の実施など	213	—
○その他	108	22	○改正貸金業法の早期完全施行	194	—
<b>【医療・保健衛生】</b>	<b>【 677】</b>	<b>【 12】</b>	○協同労働の協同組合法(仮称)の速やかな制定	107	—
○肺炎球菌ワクチン及びヒブワクチンの定期予防接種化など	198	—	○ハローワーク機能の抜本的強化	57	—
○肝炎対策のための基本法の制定及び患者の救済	98	—	○最低賃金の改定	38	—
○新型インフルエンザ対策の強化	55	—	○公契約に関する基本法の制定	38	—
○公的医療機関の安定経営と地域医療確保	37	1	○その他	124	5
○保険でよい歯科医療の実現	30	—	<b>【警察・防災・消防】</b>	<b>【 107】</b>	<b>【 16】</b>
○こどもの医療費無料制度の実現	24	—	○地震対策緊急整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の延長	50	—
○子宮頸がん撲滅のための施策の充実	22	—	○取り調べの可視化	12	—
○その他	213	11	○警察官の増員	12	—
<b>【教育・文化】</b>	<b>【 499】</b>	<b>【 8】</b>	○その他	33	16
○教育予算の拡充	114	—	<b>【外交・防衛・国際関係】</b>	<b>【 432】</b>	<b>【 178】</b>
○義務教育費国庫負担制度の堅持	108	—	○核兵器の廃絶と恒久平和の実現	146	14
○私学助成の充実	71	—	○基地予算の増額	80	—
○次期教職員定数改善	41	—	○北朝鮮の核実験に抗議	25	132
○30人以下学級の実現	28	—	○非核三原則の早期法制化	20	—
○悉皆(しっかい)方式による全国学力・学習状況調査の継続	20	—	○その他	161	32
○その他	117	8	<b>【社会・暮らし】</b>	<b>【 557】</b>	<b>【 13】</b>
<b>【農林・水産】</b>	<b>【 374】</b>	<b>【 3】</b>	○障害者自立支援法の見直し・改正・廃止など	86	—
○日米FTA(自由貿易協定)反対	75	—	○現行保育制度の堅持・拡充など	59	1
○食品表示制度の抜本改正	59	—	○今後の保育制度の慎重な検討	45	—
○農山漁村の多面的機能を維持する施策の推進	28	—	○社会的セーフティネットの拡充	27	—
○中山間地域等直接支払交付金制度の継続	19	—	○生活保護世帯の母子加算の復活	25	—
○その他	193	3	○介護保険制度の抜本的改善	21	—
			○グーグルマップ「ストーリービュー」に関する規制・法整備	19	—
			○その他	275	12
			<b>【その他】</b>	<b>【 8】</b>	<b>【 26】</b>
			<b>【総合計】</b>	<b>【 4656】</b>	<b>【 323】</b>

※各市議会から任意に提供された平成21年中の意見書・決議をもとに集計

# 星が煌めくまち

## 名寄市(北海道)

〈続編〉

前号(第1755・56号)で紹介したとおり、国内トップクラスの天体観測条件に恵まれた名寄市。「天体観測を生かしたまちづくり」を目指し、名寄市では北海道大学と連携して新たな天文台設立の準備を進めています。

北海道立サンピラーパーク内の「星見の丘」にそびえる新天文台の愛称は「きたすばる」。冬の星座「おうし座」にある「すばる」の名を冠した新天文台の愛称は、一般公募により名付けられました。

観測条件に恵まれた名寄市からなら、愛称の由来となった「すばる」も、美しく観察することが可能です。「夏の天体観測も楽しいですよ」と語ってくれたのは、

# 市政ニュース

市立天文台職員の村上恭彦氏。福島県出身だが名寄市の魅力に惹かれ、福島県から移り住んで市の職員となった



新天文台の準備に携わってきた名寄市職員の村上恭彦氏。新天文台が立地するサンピラーパーク内には、オートキャンプ用のテントサイトが整備されているため、時間にとらわれることなく天体観測に興じることができます。

このほかサンピラーパーク内には、5棟のコテージも完備しています。テントサイトやコテージは、天体観測を通

じた夏の楽しい思い出を演出する拠点として、きっと活躍することでしょう。



【上】名寄市での天体観測の先駆者・木原氏手製の望遠鏡【下】口径50センチ反射望遠鏡ほか最新観測機器の設置が4月17日のオープンに向け進められている



# 地元経済への波及も期待

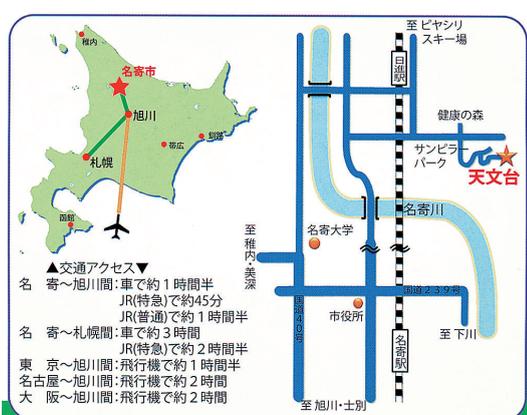
した空間に身を置き、天文について学ぶことができます。

屋上のスライディングルーフ観測室には、名寄市が4台の望遠鏡を設置。口径50センチ望遠鏡をはじめとした最新観測機器により、「きたすばる」のオープンと同時に、星を楽しむことができます。

「道外からの修学旅行誘致も視野に入れています」と語る村上氏。天体観測は、夜間の活動が主であるため必然的に宿泊を伴い、地元経済への波及効果が期待できるのだそう。新天文台「きたすばる」は、文化施設や研究拠点としての機能にとどまらず、地域経済活性化への戦略的施設ともいえ、今後の動向が注目される

平成22年4月17日にオープンする市立天文台「きたすばる」。木原天文台を作り、名寄市での天体観測の先駆けとなった故・木原秀雄氏の資料展示をはじめ、旧プラネタリウム館で使用されていた貴重な恒星投影機「GOTOS-3」、リアルタイムで太陽映像が観られる設備など、知的好奇心を喚起する工夫が凝らされています。

また、館内には最新式のデジタルプラネタリウムが設けられています。ドームの中心に投影機がないため、広々と



ご連絡・お問い合わせは  
 〒096-0066 名寄市字日進157番地1  
 (北海道立サンピラーパーク星見の丘)  
 Tel. 01654-2-3956 Fax. 01654-2-0267  
 E-mail. kitasubaru@nayoro-star.jp  
 URL. http://www.nayoro-star.jp